

和泉市第8期介護保険事業計画 PDCAシート

資料2-4

令和4年度実績及び令和5年度計画(案)

計画体系	基本目標	3 地域におけるネットワークの構築
	基本施策	(3)医療と介護の連携強化
	主な事業	(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

現行計画の内容

- 医療・介護関係者の情報共有に向けた各種連携ツールやガイドラインを活用し、関係者間の情報共有が行えるよう、継続的な導入支援と活用への浸透性を図ります。
- 在宅療養生活を支えるために必要な情報について、状態の変化等に応じて医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行えるよう、ツールの充実を図ります。

令和4年度の実績状況、取り組むにあたっての問題・課題

- ①和泉市内・病院連携の窓口(ツールの提出先)一覧の更新。
- ②和泉市に新規開業した、訪問診療をする医療機関・訪問看護ST・介護保険サービス事業所に所属する専門職向けの「和泉の医療介護連携資源、ツール、ルール等についての説明ガイド、説明プログラム」(以下、わかばセット)整備。市内に新規開業した訪問看護ST3件に、個別に紹介・説明。(R3年度中に、新病院に1件紹介済み)
- ③「ひとり暮らし高齢者など緊急入院時に備えた覚書(以下、覚書)」完成。R3年度中に研修で専門職に向けて1回周知、R4年度中に認知症・医療と介護の連携推進合同フォーラムで市民に向けて1回、130名に周知。アンケートを回収した方の77.5%が、「覚書は活用できそうか」という問いに、「そう思う・まあまあそう思う」とお答えいただいた。

(問題・課題)

②について
わかばセットの周知・配布ができていない。

③について
上記の研修・フォーラムで周知したが、利用実績の有無不明。周知も十分でない。活用方法も、確立できていない。

令和5年度の実績計画(予定も含む)

- ①続行。
- ②多職種研修や、関係機関との会議の場で、わかばセットを周知する。
- ③多職種研修などで覚書を周知、利用実績を把握する。
専門部会・入退院連携会議など場で、関係団体代表者等とその活用方法について話し合い、医療側からも、介護側からも、市民のために活用できるような仕組みの構築に取り組む。

【事業実績(例:参加人数、実施回数、配布数など)】

事業名	医療介護連携推進審議会の開催		
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数(回)	1	1	1

※令和5年度は見込

【事業実績(例:参加人数、実施回数、配布数など)】

事業名	専門部会の開催		
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数(回)	6	6	6

※令和5年度は見込